

第91回厚木愛甲地区メーデーに寄せて

2020年 4月
厚木愛甲地区メーデー実行委員長
北原 武

厚木愛甲地域で働く皆さん、こんにちは。

連合神奈川は今年で結成30周年を迎えることとなりました。本来であれば、この記念すべき30周年を飾るメーデーとして、従来通りの形でご家族も含めた皆さんとともに祝い合いたいところでしたが、現下の状況を踏まえ、このような形での開催とさせていただきますことについて、ご高察の上ご理解を賜りたいと思います。

30年という大きな節目を無事迎えられましたのも、ひとえに現役の皆様をはじめ、関係各自治体・諸団体の皆様、さらには諸先輩方など、数知れぬ多くの方々のお支援によるものと、あらためて感謝を申し上げます。この30年に恥じないような、そして30年にふさわしい活動を今後も心掛けていきたいと考えています。

現在、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。私たちの健康のみならず、世界全体の経済・社会・政治などに対して大変な脅威となっています。このウイルスは初めて認知されて以降、ほんの数カ月間に世界各地に蔓延することとなりました。これは、急激に進展したグローバリゼーションがもたらしたという側面があるとも言われています。グローバリゼーションは、各企業にさまざまな意味での効果・影響を与え、同時に働く私たちも少なからず影響を受けました。今後もこのグローバリゼーションについては更なる広がりが見込まれることから、今回のような未知のウイルスとの闘いが続くことも想定しておく必要があるのではないかと考えています。その中であって、私たちは私たちに予防を含めた、健康を第一とした、家庭内で、そして各個人で実践可能なことをしっかりと行っていく必要があるものと考えています。

国内経済の状況については、ここ数年来回復が伝えられてきましたが、昨年実施された消費増税や米中経済摩擦、EUからの英国の脱退問題などにより、やや先行き不透明感が漂い始めました。そして新型コロナウイルスの問題が、経済全体に深刻な影響を与えることが懸念されます。現状、企業活動は停滞し、個人に対する自粛圧力が強く、出口が見えないことも相まって日に日に閉塞感が強まりつつあります。このように私たちを取り巻く環境については、残念ながら明るい兆しは今のところ感じられませんが、「明けない夜はない」という言葉もあります。やや精神論的になってしまいましたが、それを信じて今しばらく何とか耐え忍んでいきたいと思っています。

また、近年の傾向でもありますが、日本列島は昨年も数多くの自然災害に見舞われ、各地に多くの爪痕を残す結果となりました。今年もこれから梅雨そして台風の季節を迎えます。日本という国はその地理的条件からして、地震を含めた自然災害から逃れることはできません。特に台風を含めた風水害については、地球温暖化によるものとも言われていますが年々激甚化する一方という感があります。もはやとても防ぎきれるものではなく、防災には限界があると言わざるを得ません。そこで自然災害は発生する、ということ为前提として、いかにその影響の度合いを小さくできるか、いわゆる減災の取り組みにも防災同様力を入れていくべきではないかと思えます。防災、減災を考えると、「自助」「公助」「共助」と三つの考え方が言われます。「自助」は自らを助けるという意味合いから、皆さんと皆さんのご家族の安全を第一に考えた備えをしていただく自助、「公助」は災害発生時の各種救援活動における国や地方自治体等の行政等の力による公助、「共助」は皆さんのご近所を含めた地域等のつながりによる、お互いを助け合うというところの共助ということになります。大規模災害が発生した場合においては、この「自助」「公助」「共助」の三つがうまくかみ合うことが重要だと考えます。ないにこしたことはありませんが、万が一を考え、まずは「自助」の考えに基づき、是非それぞれのご家庭の中で備えをしていただきたいと思います。

働くことを軸とする安心社会の実現を目指し、この厚木愛甲の地域においても今後様々な取り組みを行っていきたいと考えています。地域の皆様のより一層のご協力ならびにご活躍とともに、関係各組織のますますのご発展、さらには皆様と皆様のご家族のご健康とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

以 上

日本労働組合総連合会 神奈川連合会
厚木愛甲地域連合

